

【別紙 2】

令和 3 年度 茨城県立水戸農業高等学校（定時制） 「三つの方針」

三つの方針（スクール・ポリシー）	内 容
「育成を目指す資質・能力に関する方針」 （グラデュエーション・ポリシー）	○地域社会の役割の一端を担える力を備え、社会の変化に柔軟に対応し、主体的に社会に関わることができる人財 ①主体的に生命と向き合い、生命に問う学びをとおして、自らの生き方について考える生徒を育てます。 ②地域活動・産官学連携・高大連携など、学校内外様々な人との関わりの合いの中で、社会的実践力が身についた生徒を育てます。 ③地域を愛し、文化や伝統を後世に伝えることのできる生徒を育てます。 ④実習や実験をとおして、自ら目標を設定し、目標達成のための計画を立て、努力できる生徒を育てます。 ⑤実習等において、仲間と協働することで、他者の気持ちに立ち、思いやりと心配りを持って行動できる生徒を育てます。
「教育課程の編成及び実施に関する方針」 （カリキュラム・ポリシー）	○生徒一人ひとりの多様な進路希望や学習のニーズに合わせた教育課程において、学習活動を支援するとともに、体験的な学びから知識・技術を確実に身につけさせ、地域産業においてリーダーとなる人財育成 1 年次：・普通教科において基礎学力を定着させ、「農業と環境」「農業と情報」などをとおして、農業の基礎・基本を学びます。 ・各教科校外学習などをとおして、各農業分野の特徴や現状を学びます。 ・長期休業中において、農作物の栽培・飼養管理を行い、農業を体系的に学びます。 2 年次：・各科における専門科目を学びます。 ・3 年次からの「課題研究」・「総合実習」でのコース分けに向け、様々な領域について学びます。

【別紙 2】

	3 4 年次：・「課題研究」・「総合実習」において、コース（専攻）ごとに実習・研究を行います。 ・自ら課題を設定し、その解決に向けた活動をとおして、課題を解決する力を培います。 ・課題研究発表会などをとおして、自らの考えをまとめ、プレゼンテーションする力を養います。 4 年間：・収穫祭や水農祭、日々の実習から、生命と向き合い、収穫の喜びを体験します。 ・販売会などをとおして、職業観を醸成させ、コミュニケーション能力を養います。 ・北海道実習、種子島実習、先進農業視察研修など、先進的な農業を学ぶ機会に溢れています。 ・農業クラブ活動や各種コンテストに出場し、多様な考えに触れ、幅広い考えに触れます。 ・環境問題やエコ活動に取り組み、持続可能な社会の実現に向けて、努力する態度を身につけます。
「入学者の受入れに関する方針」 (アドミッション・ポリシー)	○学科の特色に応じた専門教育に取り組む姿勢があり、チャレンジ精神旺盛で、夢の実現に向けて自ら主体的に考え行動しようとする意志を持った生徒 ①地域社会との連携のなかで社会的実践力を養い、地域振興、持続可能な社会の実現に向けて活動したいと考えている生徒 ②実習・実験など体験的な学びがしたいと考えている生徒 ③学習活動とともに、部活動や農業クラブ活動などにチャレンジし、目標に向かって努力したいと考えている生徒 ④将来就農したい、農業関連産業に従事したいと考えている生徒